

学校だより 校訓「創造」「感動」「鍛錬」

垂水市立垂水中央中学校

令和3年度 第12号（3月18日発行） 校長 亀山 浩一

第12期生97名卒業おめでとう

3月15日（火）、やわらかな風に包まれ、春の訪れが感じられる佳き日に、第12回卒業式が挙行されました。担任による呼名にさわやかな返事をしながら卒業証書を受け取る姿に、たくましさや成長を感じました。厳かな雰囲気の中で、姿勢もよく、「心に残る卒業式にするぞ」という12期生の思いが詰まった立派な卒業式でした。今年1年、生徒会のリーダーシップを感じたり、「心をひとつに燃え上がった」体育大会であったり、「笑顔の花が咲き感動を味わった」文化祭・合唱コンクールでの姿は、今でも脳裏に浮かびます。信じあえる友と懸命に取り組んだ数々の瞬間が、みなさんの胸にもきっと刻み込まれていることでしょう。みなさんの次なるステージでの活躍を祈ります。



卒業生代表「答辞」 ～一部抜粋～

今日は、私たち九十七名の出発の日。思い起こせば、私たちの中学校生活は、大変充実し、すばらしい日々でした。・・・(中略)

そして、最高学年の三年生。春には、延期になっていた修学旅行に行くことができ、友達の新たな一面を見つけて仲良くなったり、学級の絆を深めたりと、最高の思い出ができました。

中学校最後の体育大会は、最高学年として、今までとは全く違うものでした。実行委員会・応援団を中心に自分たちで工夫し、どうしたら大成功できるのか、どうしたら盛り上がるのかをみんなで考えました。大変なこともありましたが、一生忘れられない体育大会になりました。

文化祭では、毎日練習した合唱や、学年劇の練習、展示の準備など、それぞれの役割を決めて、全員で作りました。一、二年生の頃では考えられないくらい、学年・学級がまとまり、すばらしい文化祭になりました。

生徒会活動では、うまくいかないこともあり、苦しい時期もありましたが、生徒会役員みんなで協力し、やり遂げることができました。時には自分たちの意見を押し通そうとして、先生方に迷惑をかけてしまいました。それでも細かくサポートしてくださり、感謝の思いでいっぱいです。

生徒会役員で文化祭のオープニングを作り上げたことも、深く心に残っています。練習の時の楽しさ、文化祭当日の達成感を心から感じ、このメンバーで生徒会活動ができて、本当に良かったと心の底から思いました。

在校生の皆さんへ

今までついてきてくれた在校生の皆さん、今日は、全員の顔が見られずに寂しい気持ちもありますが、これから新しい垂水中央中学校を創り上げてください。

三年間、ともに学んだ、みんなへ

僕は、今、みんなとの別れの時を迎え、こんなに寂しく、こんなに悲しいことはありません。もっと、みんなと長い時間一緒に過ごしたかったです。三年間では足りなくらい、みんなとは楽しく充実した毎日を過ごすことができました。今思えば、休み時間ももっとたくさん話したかったし、面倒だと感じていた授業の時間も、どれも楽しく、貴重な時間だったのだと感じます。この先、みんなそれぞれの道を進んでいくけど、この九十七名の絆は、一生消えることはありません。みんなと三年間過ごせて、本当に幸せでした。ありがとう。

家族へ

今まで私たちを支えてくれた家族には、感謝の思いでいっぱいです。時にはわがママを言い、困らせたときもありました。怪我や病気で心配をかけたときもありました。意見がぶつかり合ってけんかをしたときもありました。しかし、いつもどんな状況でも温かく見守り、信じてくれた家族のおかげで、ここまで成長することができました。これからも心配をかけることもあるかもしれませんが、私たちの成長を見守り続けてください。

最後になりましたが、垂水中央中学校のますますの発展とご多幸をお祈りして、答辞といたします。

友 さようなら そして ありがとう 再び会える その時まで

卒業生代表 川上 幸之助





日	曜	4月の主な行事
6	水	新任式, 始業式, 入学式
7	木	身体測定, 心臓検診, 学年・学級PTA
8~11	金月	標準学力検査
9	土	生徒会入会式, 部活動紹介
14~25	木~	三者相談・家庭訪問
19	火	全国学力学習状況調査
26	火	歯科検診
27	水	眼科検診, 内科検診(3年)
28	木	内科検診(1年)

